



2022.7.19 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

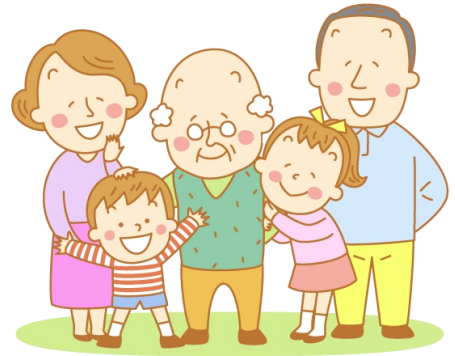
### 親ガチャの意味

この「親ガチャ」という言葉は、昨年の流行語大賞にノミネートされ、子どもがどんな親のもとに生まれるかは運任せであり、家庭環境によって人生を左右されることを、スマホゲームの「ガチャ」にたとえています。SNSの普及で他人の私生活の良い面が見えるようになったことで、遺伝的要因（生まれ）と環境要因（育ち）の違いを「努力では挽回できない差」と捉えています。

自分自身の誕生を振り返ってみると、土木建設業を営んでいた家庭に長女として生まれました。会社の後継者が欲しかった父は、女の子が生まれてとてもがっかりしていたそうです。ですから私は男の子のように育てられ、男子と喧嘩しても負けないくらいのオテンバ娘に成長しました。今で言うと虐待かもしれないと思うくらい厳しい父親、逆に母親からは幼少期に過保護すぎるくらいの育て方で、私という人物が作られました。小学生低学年だったので自分はあまり覚えがないのですが、一度土木会社が破産し、生活が困窮したこともありましたが、でも、両親は何とか踏ん張って会社を立て直し、後に幼稚園を設置、それが現在の仕事につながっています。両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

去る7月8日、奈良県で襲撃事件が起き、安倍元総理が亡くなりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。犯人の生い立ちが判明してきて、育った家庭環境の悲惨さがマスメディアで毎日のように流れています。犯行は決して許されるものではありませんが、家庭が破綻する前に何か救う方法があれば事件は起きなかったかもしれない、と多くの方が感じたのではないのでしょうか。

「生まれくる生命は国も父も母も選べない 生まれ落ちた場所で懸命に生きる」と浅沼けい子さんという方が書かれた詩があります。現実をあるがまま受け入れて、与えられた今の環境や状態を肯定的に受け入れて、前向きに生きることのほかにより善い人生はないと、この詩は訴えています。子どもたちのために我々大人はどんな環境を作るべきか、足元をしっかりと見つめなければと思いました。



### 夏休みの過ごし方

明後日から夏休みが始まります。4月から始まった約4か月を振り返ると、お子さんたちの成長に驚きます。入園したばかりの時、部屋に入らず外へ飛び出してしまう子がいて、何回追いかけて連れもどしたことが。今はすっかり落ち着き、部屋で仲良く友だちと遊んでいます。英語しか理解できないお子さんは、最初の頃はとても不安な顔で幼稚園に来ていましたが、片言の英語で話しかけるうちに表情が柔らかくなり、今では毎日笑顔で来てくれます。せっかく幼稚園やお友達に慣れてきた頃に、長いお休みになってしまうと不安になられる方もみえると思います。確かに2学期が始まると少し戻る傾向もありますが、4月当初とは全く違い、長引くことはあまりないのでご安心ください。

さて夏休みの目的は、『太平洋高気圧支配下での授業が暑熱により困難なので、その間を休業とするためとされる。その期間に期待される教育効果は、普段学校では体験することのできないことへの児童・生徒の挑戦とされる。』とあります。この『普段学校では体験することのできないこと』が夏休みに重要な意味があるのではないのでしょうか。

今月になって新規感染者数が増え、第7波でコロナが心配ですが、ご実家に帰ってご祖父母様と会ったり、ご先祖様の供養をされたりする方もみえると思います。お子さんの休みに合わせて親も夏休みを取るというように、昔と比べると長い夏季休業を取れる企業も増えてきました。夏休みの思い出は、『家族でどこかへ行く』ことも楽しみですが、お子さんにとって一番うれしいのは、ご両親と一緒に過ごす時間だと思います。楽しい夏休みを過ごしてくださいね。

